

2/9

日

2/9

96

(第3種郵便物認可)

毎日新聞

徳山ダム建設で 意見書提出決める

西濃地方の市民でつくる「徳山ダム建設中止を求めるとの会」(上田武夫代表)の会合が四日、大垣市本町の同会事務局で開かれ、事業の中部地建に建設内容の

96 02 05 日

十分な審議を求める意見書の提出を決めた。

同会は、徳山ダム建設に
関心のある市民ら約二十人
で昨年末に組織され、建設
中止を求める署名活動を続

けている。

会合には、会員と県自然
環境保全連合会員や長良川
河口せき建設差し止め訴訟
原告団員らが出席し、環境
保全活動の在り方などに

2/5

いて意見交換した。席上で、
中部地建が設置した徳山ダ
ム建設事業審議委員会での
徹底した審議と市民による
委員会傍聴、中部地建と市
民の対話集会の開催を求め
ることにした。

徳山ダム計画

初の反対組織結成

署名活動
も実施

中部地建に近く要望書

岐阜県の旧徳山村(揖斐郡藤橋村)に水資源開発公団が計画中の徳山ダムの建設に反対する市民組織「徳山ダム建設中止を求める会」(上田武夫代表)が、建設反対の署名集めを始めている。建設省中部地建が昨年、事業見直しを検討する審議委員会を充足させたのを機に誕生。近く、同地建などに要望書も提出する予定だ。一九七一年の同ダム建設計画発表以後、本格的な反対派市民組織の結成は初めてと

いう。同ダムは洪水調節、利水、発電が目的のロックフィルダム。総貯水容量六億六千万立方メートル、完成すれば日本最大規模。昨年十二月、中部地建が、梶原拓・同県知事ら地元自治体代表や学識経験者らの同ダム建設事業審議委員会を充足、見直しを含め、今年八月に答申を出す予定。同会は年明け以降、同県内の約五十団体で組織する同県自然環境保全連合も全面支援の態勢となり、署名

は一カ月で、五百人以上集まったという。会員たちは徳山ダムの必要性に疑問を投げ掛けており、同連合の足立孝事務局

長四八も「利水面で本当に需要があるのか。河口堰問題と兼ね合わせてみても、利権を求めるだけの行為ではないか」と手厳しい。

岐阜・徳山ダム計画 40年目に反対運動

水没する全戸の移転補償を終え廃村になった岐阜県の旧徳山村の徳山ダム(同県揖斐郡藤橋村)計画に対し「環境を破壊する」などとして建設反対を訴える市民グループが地元で旗揚げした。同県大垣市に事務局を置く「徳山ダム建設中止を求める会」で、代表は日本野鳥の会会員の上田武夫さん。今年から反対の署名集めを始めている。会結成の引き金になったのは建設省が始めたダム事業の再評価システム。徳山ダムの本格的な反対運動は過去になく、構想浮上から四十年目にして初めて是非論争が沸き起る気配を覚せている。

会の呼び掛け人は約六十人。署名も多々を連ね、発電用ダムとして構想が表へ、長良川河口堰(せき)についている。徳山ダムは一九五七年に完成させたダムとして計画の反対運動にかかわっている。



徳山ダム 水資源開発公団が揖斐川上流に建設中の総事業費は一九八五年時点ロックフィル式ダム、岐阜、約二千五百四十億円。本愛知四県、名古屋都市への新築は公共林の買収が進まず、規水と洪水調整、発電の発電工。総貯水量六億

再評価システムが引き金

是非論争の気配

が確定した。七〇年代には離村を強いられた住民の中に反対運動があったというが、社会的に注目されないまま八九年までに全四百六十六戸の移転契約が終わった。九二年には仮排水トンネルの工事を開始。一部の用地が未買収になっている。ほかに反対運動もなげ、ほ順調に工事が進んでいる。また、八九年までに全四百六十六戸の移転契約が終わった。九二年には仮排水トン

審議委員会を設置し既に合を二回開いた。

「建設には昔から心情的に反対はなかったが、今夏は審議委員会を設置した」として一定の方向性を示す。上田さんは「建設省が中止を求めた場合、反対運動に動員される」として「疑問がめられたら、反対運動を組織する」と話している。八五年に離村、今

「これが一七年度の本年暫工を旨としている建設省側は、今夏の審議委員会設置に一定の方向性を示す。上田さんは「建設省が中止を求めた場合、反対運動に動員される」として「疑問がめられたら、反対運動を組織する」と話している。八五年に離村、今

同会は計画に対し反対運動として自然破壊を懸念して、既に完成した長良川河口堰の閉鎖水でもえ使う気配がない」と主張。利水や治水上の必要性に疑問を投げ掛け、審議委員会には結論を急がず慎重に審議するよう求めている。

96.02.14 月日

「徳山ダム」で 地建と初交渉

7/27 「中止を求める会」
市民グループ「徳山ダム
建設中止を求める会」(上田
武夫代表)は十四日午前、
名古屋市中区の中部地方建
設局を訪れ、尾田栄章局長
あてと、中部地建が設けた
徳山ダム建設事業審議委員

会あての要請文を手渡し
た。
要請文は①審議委員会が
徹底審議できるよう、「八
月答申」などの期限を設定
しない②準備工事を一時凍
結する③市民との対話集会
を求める—の三点を求め
ている。

求める会は岐阜県内の自
然保護団体関係者らで昨年
十二月に結成した。中部地
建と交渉したのは初めて。
交渉には、長良川河口堰
(せき)の反対派も姿を見
せた。

徳山ダム建設 計画見直しを

市民団体が要望書

岐阜県の旧徳山村(旧斐那藤橋
村)の徳山ダム建設計画に絡み、
同県西濃地方を中心に昨年末結成
された市民組織「徳山ダム建設中
止を求める会」(上田武夫代表)
が十四日、建設省中部地建などに
建設計画の見直しを求める要望書
を提出した。

か、水資源開発公団と、昨年十二
月に発足した徳山ダム建設事業審
議委員会。同地建の尾田栄章局長
あて要望書では、同ダムの必要性
について疑問を指摘したうえで
「本曾川水系は既に水余りの状態。
計画通りの建設は無用な費用負担
となり、生態系の破壊など、環境
への影響は計り知れない」などと
主張。同委員会の審議には期限を
設けず徹底的な審議を▽ダム建設
関連工事の即時凍結▽堤防強化な
ど必要な工事の即時実施▽市民と
の対話集会の開催—の四点を要
望した。同委員会あてでも、十分
な審議と公聴会の開催などを求め
ている。

同会は来月十日に大垣市で「徳
山ダムを考える学習会」を開く。

96. 2. 15 日

徳山ダム中止 を要望書提出

7/5 中部地建に求める会

藤橋村で進められている
多目的ダム、徳山ダムの建
設中止を求める市民グルー
プが十四日、名古屋市中区
の中部地方建設局を訪れ、
建設の中止とともに、市民
の声を反映させる対話集会
の開催などを求めた要望書
を担当者に手渡した。

この市民グループは、岐
阜、愛知など、利水自治体
の市民を中心にした「徳山
ダム建設中止を求める会」

で、昨年末に同地建で同ダ
ムに関する再検討のための
事業審議委員会が事業認可
から二十年ぶりに設置され
たことから発足した。
同会では、利水目的に必
要性はない」など疑問を
投げかけたうえで、審議委
員の多くが知事ら自治体関
係者であることを挙げ、「事
業賛成派が多すぎては審議委
員会自体が通過儀礼にな
る」と疑問を提示。市民と
の対話ができる第三者機関
の設置や対話集会の開催を
要望。八月末としている審
議期限に対し「期限撤回を」

96.02.14 日

徳山ダム工事凍結 求め地建に要望書

7/4 市民グループ

岐阜県揖斐郡藤橋村に計
画されている徳山ダムの建
設に反対する市民グループ
「徳山ダム建設中止を求め
る会」(同県大垣市本町
二、上田武夫代表)は十四
日、名古屋市中区三の丸の
建設省中部地方建設局を訪
れ、同ダム建設計画を再検
討する審議委員会の結論が
出るまでの工事の凍結を求
める申し入れをした。

上田代表をはじめ同会の
メンバー四人と、長良川河
口堰(せき)建設差止訴訟
原告団の村瀬惣一さんら賛
同者四人が、河川調整課の
笹森伸博課長補佐に要望書
を手渡した。

96.2.15 日

徳山ダムの建設 見直しで要望書

7/15 中部地建に中
止を求める会

西濃地方の市民でつくる
「徳山ダム建設中止を求め
る会」(上田武夫代表)は
十四日、建設省中部地方建
設局に徳山ダムの建設見直
しを求める要望書を提出し
た。徳山ダム建設事業につ
いて、市民グループから建
設反対の要望書が出される
のは初めて。

同会は、徳山ダム建設に
関心の高い大垣市民を中心
とする西濃地方の約二十人
で昨年末に結成され、建設
中止を求める街頭署名活動
を行っている。

上田代表ら会員と長良川
河口せき建設差止め訴訟
原告団員など計八人が名古
屋市中区三の丸の同建設局
を訪れ、「河川最上流部の
ダムによる洪水対策は効果
が少ない上、水需要は見込
めない」とする意見を述べ、
▽徳山ダム事業審議委員会
による徹底した審議の実施
▽建設工事の即時凍結▽揖
斐川の堤防強化事業の実施
▽市民との対話集会の開催
—を求めた。
また、同建設局に事務局

がある徳山ダム事業審議委
員会には、慎重な審議を求
める要望書を提出した。